

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成19年8月9日(2007.8.9)

【公開番号】特開2006-247415(P2006-247415A)

【公開日】平成18年9月21日(2006.9.21)

【年通号数】公開・登録公報2006-037

【出願番号】特願2006-172675(P2006-172675)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月27日(2007.6.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数種類の識別情報を可変表示可能な可変表示装置を有し、該可変表示装置の表示結果が予め定められた特定の表示態様になった場合に、遊技者に有利な特定遊技状態に制御可能な遊技機であつて、

前記特定遊技状態に制御するか否かを決定するための特定遊技状態決定用カウンタと、
前記可変表示装置においてリーチ状態を成立させるか否かを決定するためのリーチ決定用カウンタと、

複数種類の普通識別情報を可変表示可能な普通識別情報用可変表示装置と、
該普通識別情報用可変表示装置の表示結果が特定の識別情報となつたときに、遊技者にとって不利な状態から遊技者にとって有利な状態に変化する始動用可変入賞球装置と、
該始動用可変入賞球装置へ遊技球が入球したタイミングで取得した前記特定遊技状態決定用カウンタの値に基づいて前記特定遊技状態に制御するか否かを決定する特定遊技状態決定手段と、

該特定遊技状態決定手段が前記特定遊技状態に制御しないことを決定したときに、前記リーチ決定用カウンタに基づいて前記リーチ状態を成立させるか否かを決定するリーチ決定手段と、

所定の条件が成立した場合に、前記可変表示装置または前記普通可変表示装置の可変表示時間が短縮される特別遊技状態に制御する特別遊技状態制御手段と、

遊技状態が前記特別遊技状態となることに基づいて、前記リーチ決定手段が前記リーチ状態の成立有無を決定する確率を低くするように切り替える確率変化手段とを備えたことを特徴とする、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の目的は、特定遊技状態を発生させないことを事前決定したときのリーチ状態成立率を遊技状態に応じて変化させることが可能な遊技機を提供することである。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項1に記載の本発明は、複数種類の識別情報を可変表示可能な可変表示装置を有し、該可変表示装置の表示結果が予め定められた特定の表示態様になった場合に、遊技者に有利な特定遊技状態に制御可能な遊技機であって、

前記特定遊技状態に制御するか否かを決定するための特定遊技状態決定用カウンタと、前記可変表示装置においてリーチ状態を成立させるか否かを決定するためのリーチ決定用カウンタと、

複数種類の普通識別情報を可変表示可能な普通識別情報用可変表示装置と、該普通識別情報用可変表示装置の表示結果が特定の識別情報となったときに、遊技者にとって不利な状態から遊技者にとって有利な状態に変化する始動用可変入賞球装置と、

該始動用可変入賞球装置へ遊技球が入球したタイミングで取得した前記特定遊技状態決定用カウンタの値に基づいて前記特定遊技状態に制御するか否かを決定する特定遊技状態決定手段と、

該特定遊技状態決定手段が前記特定遊技状態に制御しないことを決定したときに、前記リーチ決定用カウンタに基づいて前記リーチ状態を成立させるか否かを決定するリーチ決定手段と、

所定の条件が成立した場合に、前記可変表示装置または前記普通可変表示装置の可変表示時間が短縮される特別遊技状態に制御する特別遊技状態制御手段と、

遊技状態が前記特別遊技状態となることに基づいて、前記リーチ決定手段が前記リーチ状態の成立有無と決定する確率を低くするように切り替える確率変化手段とを備えたことを

特徴とする。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項1に記載の本発明によれば、特定遊技状態決定手段の働きにより、始動用可変入賞球装置へ遊技球が入球したタイミングで取得した特定遊技状態決定用カウンタの値に基づいて特定遊技状態に制御するか否かが決定される。リーチ決定手段の働きにより、前記特定遊技状態決定手段が前記特定遊技状態に制御しないことを決定したときに、前記リーチ決定用カウンタに基づいて前記リーチ状態を成立させるか否かが決定される。特別遊技状態制御手段の働きにより、所定の条件が成立した場合に、前記可変表示装置または前記普通可変表示装置の可変表示時間が短縮される特別遊技状態に制御される。確率変化手段の働きにより、遊技状態が前記特別遊技状態となることに基づいて、前記リーチ決定手段が前記リーチ状態の成立有と決定する確率を低くするように切り替えられる。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項1に関しては、特定遊技状態を発生させないことを事前決定したときのリーチ状態成立率を遊技状態に応じて変化させることが可能となる。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】